

報道発表資料
平成23年6月30日
気象庁

平成23年6月30日8時16分頃の長野県中部の地震に伴う 大雨警報・注意報基準の暫定的な運用について

平成23年6月30日8時16分頃の長野県中部の地震による地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった市町村については、大雨警報・注意報の発表基準（土壌雨量指数基準）を引き下げて運用します。

平成23年6月30日8時16分頃の長野県中部の地震により、長野県で震度5強を観測しました。

この地域では、地盤が脆弱になっている可能性が高いため、雨による土砂災害の危険性が通常より高いと考えられます。

このため、長野県のうち震度5強以上を観測した市町村については、当分の間、長野地方気象台が発表する大雨警報・注意報の発表基準（土壌雨量指数基準）を通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用します。

対象県：長野県　暫定割合：8割

暫定基準を設ける市町村：松本市(乗鞍上高地の区域を除く)

なお、引き続き地震後の降雨と土砂災害の関係を調査し、必要に応じて暫定基準を変更します。

＜本件に関する問い合わせ先＞

気象庁予報部予報課気象防災推進室

03-3212-8341（内線3125）